

卒業式挨拶

皆さん、お早うございます。ご紹介いただきました同窓会会長の大久保です。皆さんご卒業おめでとうございます。毎年申し上げるのですが、お祝いの言葉は二重の意味でお贈りします。

一つは、伝統ある石神井高等学校を無事ご卒業されたこと。もう一つは、同時にこれも伝統のある、石神井高等学校の同窓会に入られたと言うことです。

二万五千人を越える同窓会会員を代表して皆さんをお迎えするご挨拶をさせていただけるのは大変名誉なことです。

石神井高等学校は、文武両道の伝統をこの七十三年間営々と積み上げてきております。同窓会も旧制中学が四期、新制高校となって皆さんで六十五期目となる卒業生を同窓会メンバーとして迎えています。

同窓会は、毎年機関誌を発行して、会員間の絆を繋いでいます。もちろんご時世ですから、インターネットでホームページを開いて、最新の情報も提供してさらに強い絆を気づくためのお手伝いをしています。この絆は、先輩が長い時間を掛けて繋いできたもので、これから皆さんもこれを共に強めて頂きたいものであります。

石神井高等学校は、文武両道で伝統を紡いできました。皆さんも体育祭や文化祭でこれらを引き継いでいただいていたかと思っております。

本校の校歌は大変難しいのですが、この校歌の中にもこれを歌ったものがあります。私が最も好きなものは、三番の最終フレーズにあたりますが、「新しき世紀の朝に、まゆ上げとともに進まん」というところです。同期の人達と、また、先輩やこれから卒業してくる後輩を含めて、一緒に次の時代を作り上げるためにも、同窓会の絆をうまく使っていたきたいと思っております。

ちなみに毎年十月の第一週土曜日に日比谷公会堂で、都立高校同窓会が集まり、各校の校歌を歌う校歌祭に参加しています。お時間があれば、グループでぜひご参加ください。

大先輩も、今現役の先輩も、若手の先輩も社会で大活躍をされています。皆さんもこれから社会に出て活躍していただかなければなりません。活躍されている先輩たちの経験は大変貴重なものです。同窓会は、このような先輩と後輩を繋ぐ、絆の役割をしています。

本日は、皆さんに同窓会への招待状もお渡しさせて頂きました。是非同窓会を上手に使ってください。

同窓会へのご招待を、皆さんへのお祝いの言葉に代えさせていただきます。

おめでとうございます。

平成二十五年三月九日

石神井高等学校同窓会会長

大久保利一